

呉市手をつなぐ育成会 ～2月号～

# 育成会だより

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



2026年(令和8年)2月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823) 24-2260

Fax (0823) 24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>



## 呉市立三坂地小学校 コスモス学級 『コスモスいっぱい』

### もくじ

- 表紙 呉市立三坂地小学校  
P.2 「夢で」 会長 中川潤二 書籍ご紹介  
P.3 清水ヶ丘高校インターアクトクラブの皆さん  
ありがとうございました  
P.4 手をつなぎ生きる vol. 33  
「親バカ、ときどき、ため息」 こたろうの母  
P.5 ぼくの学級!わたしの学級!呉市立倉橋中学校  
P.6 本人活動報告 野呂山学園作品展  
P.7 「互助制度」「生活サポート総合保障制度」  
P.8 呉市手をつなぐ育成会60周年記念事業  
お礼 お知らせ 広告 編集後記

### 2月の予定

- 2月1日(日)  
いくせい太鼓  
人権フェスタin Nigata2026 出演  
2月9日(月) 10:00~12:00  
サポートファイル学習会(呉市福祉会館3階)  
2月15日(日)  
本人部会会議 10:00(呉市福祉会館3階)  
うたう会 13:15(呉市福祉会館3階)  
2月28日(土)  
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)  
★次回発行は3月1日です

呉市手をつなぐ育成会 60周年記念式典・記念講演会 6月20日(土)開催



## 「夢で」 会長 中川 潤二

紅白歌合戦を楽しく見ました。テーマが「つなが、つながる、…」でスタートが「夢であいましょう」でした。子どものころ大好きだった「ひょっこりひょうたん島」も「上を向いて歩こう」も出てきました。それだけで引き込まれました。

去年は大切な人たちを送りました。そんな人たちが、何度も夢に出てきてくれました。セロ弾きのゴーシュこと田中春樹さんは、自宅でチェロを弾きながら貞子さんのピアノで自作の「観音さま」を歌ってくれています。岩木達先生は育成会の総会後の舞台で「上を向いて歩こう」の指揮をされています。もう少しみたいなという場面で目が覚めます。人生の最後まで「自分の夢を持ち続けた人たち」でした。兄も送りました。大人になって同じ職業につきました。若いころ、二人で居酒屋に行っていました。店の人から「ケンカはしないで」と度々言われました。議論に夢中になって、だんだん大声になっていたのだと思います。ケンカは一度もしたことがありません。注意された後、少しだけ小さく、でも熱く話しているところで目が覚めます。そんな兄は退職後も知的障害

のある教え子や家族のために、島の畑の横にプレハブの塾を開き、海水浴やミカン狩りもしていました。私も妹と少し手伝っていました。自分も少し認知症を感じながら百歳の母の面倒を最後まで見ていた兄から何度か SOS がありました。認知症の母が家から出て徘徊するのです。警察のお世話にもなりました。朝方見つかった時パトカーの横で、手を握った時、思わぬ力で握り返してくれました。母の手のぬくもりは強く心に残っていて、この場面が夢に出ると何故か温かくなります。つらい夢もあります。子供たちに間違えて話した短歌があります。菅原道真の「東風」をなぜか怖い冬の風と思い込んでいて大宰府で都の春の梅を思う菅原道真の心を伝えられず、今でも痛恨のミスで夢に出るとあわてて目が覚めます。夢であって欲しいことです。

夢は自分が経験したことなどが、出てくるとも言われます。年を重ねると睡眠が浅くよく夢を見ます。良い体験を重ねて心地よい夢を見たいものです。「つなが、つながる、育成会」のために。

### ～書籍ご紹介～

#### 元気の出る情報・交流誌 「手をつなぐ」

「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関する教育・福祉・労働等々の諸施策などの記事を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している機関紙です。(年間購読料 3,900 円)



#### 「ひとりだち」

これから一人暮らしや、グループホームなどで生活をはじめようとする人のために書かれています。

さまざまなことがわかりやすく書かれており、何かを自分で決める時にも役立ちます。



1,320 円(税込み)



# 清水ヶ丘高等学校インターアクトクラブの 皆さんありがとうございました

毎年、クリスマス会では、呉南ロータリークラブ・清水ヶ丘高等学校インターアクトクラブの皆さんと楽しい時間を過ごさせていただいております。

昨年12月14日(日)に参加された生徒さんから感想が届きましたのでご紹介させていただきます。



参加させていただきありがとうございました。多くの方と交流することができ楽しい時間を過ごすことができました。また普段の学校生活では体験できないことを体験できました。ありがとうございました。



子供から大人まで幅広い方々と楽しく交流させて頂くことができ、とても良い体験をすることができました。このような楽しい会に参加することができてとても嬉しかったです。ありがとうございました。



今年で三回目の参加となりましたが障害の有無に関わらず、みんなで一緒に楽しめるクリスマス会で今年もとても楽しい時間を過ごすことができました。

健常者、障害者の方関係なく、楽しむことができたし、実際に私がトナカイになってみなさんの笑顔を見ることができたので嬉しかったです。

レクリエーションや歌を通して、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。たくさんの笑顔に触れ、参加して本当によかったと感じました。

会場にいたたくさんの方々と怪我なく安全にゲームを行い、一緒に歌を歌うことができてとても楽しかったです。  
ありがとうございました！

沢山のひとと一緒に楽しめたので良かったです！また来年もよろしくお願いします。

皆さんと楽しくゲームができたので良かったです。

今回のクリスマス会では色々な人達と関わることができ、ゲームや歌を通してみなさんが笑顔になっている様子を見て私も嬉しくなりました。とても貴重な経験ができたと思います。





## 「親バカ、ときどき、ため息」

### こたろうの母



小学一年生の息子は、生き物が大好きな自然児です。冬は真っ赤な手で氷を割り、春を待たずに虫探し。夏は暑さも忘れて川の生き物を追

い、秋は石でどんぐりを割る。季節の移り変わりを肌で感じて全力で楽しむ姿に、つい目を細めてしまいます。

歩きだしたところから意志の強い子でした。水たまりには迷わず突進し、動物園では蛍の光が流れても動かない。「今はイイイヤ期だし」と、本人の気が済むまで付き合うのが我が家の日常でした。

ところが、年少の後半から、旅先や休日のふとした瞬間に「あれ？」と思うことが続きました。当たり前のことができない。たまたま…？日常でも、「そのうち」と待っている成長がなかなか見えてこない。遅れてる…？これまで息子と向き合って築いてきた我が家の「当たり前」は、もしかしておかしい…？そんな小さな違和感は、日を追うごとに薄れるどころか、私の心の中に静かに積み重なっていきます。

そんな中で受けた五歳児発達相談。「特性」という言葉を知ると、これまでの違和感だけでなく、それまで気にしていなかったこと、そして長所だと思っていたことまで、次々とパズルのピースがはまるような感覚でした。しかし、結果は「様子見」。具体的な対策はわからないまま、ただ時間だけが過ぎていきました。少しの成長に喜んだかと思えば、できないことが以前よりも目に付く。そんな安心と不安のジェットコースターに乗っ

たまま、小学校生活に突入しました。

案の定、初日からプチトラブル発生です。先生の指示を一部だけ守り、ランドセルは空っぽで帰宅。本人は「荷物はロッカーに置きましょうって先生が言ったよ」とケロリ、むしろ自信満々です。参観日には、一人だけマイワールドに浸っている姿を見て、ため息が出ることも。でも、これが息子なのだと思います。行き渋っていた頃のような足取りの重さが消え、学校へ向かう後ろ姿を見送ると、「今日も無事に出発できた」と安心に包まれます。



日々の些細なことに手を焼き、イライラもします。「これでいいのかな」という不安や「あの時もっとこうしておけば」という後悔が押し寄せてくることもあります。でも、息子が何かに夢中で目を輝かせる姿はたまらなく愛おしい。一緒に楽しむと、彼の見ている特別な世界に気づかされます。そんな発見の連続が、今は面白いのです。

これからも、この子が見せてくれる景色を隣で楽しもう。そんな親バカな日々を、今日も大切に過ごしています。



～夏に川で捕まえたお気に入り！オイカワ(オス)～





# 倉橋中学校 ひやま学級



ぼくの学級！  
わたしの学級！

ひやま学級は、3年生2名で活動しています。

今年度の倉橋中学校3年生の総合的な学習の時間では、「くらはし大好きプロジェクト～地域貢献編～」として、食品ロスをなくすために生まれた倉橋のお宝トマトを使ったドレッシングのPR活動をしました。

ひやま学級の2人もPRポスターを考えて作成し、倉中祭(文化発表会)に展示しました。



また今は、受験に向けて自己表現の学習や面接練習をしています。

自分自身のことや進学した後の目標などについて考えて、自分のことばで表現できるよう頑張っています。





ほんにんかつどうほうこく

## 本人活動報告



今日は、城本会長がみんなに、お正月はどのように過ごしましたか？と聞いてくれました。風邪をひいた人が多かったです。

今年がんばることについて話しました。健康に気をつけたい人が多かったです。「ひとりだち」の本を読みました。健康について話をしました。僕は野菜もたくさん食べようと思いました。お昼からのうたう会では、わからない歌もあったけど、みんなと歌って楽しかったです。【松岡虎空】



お兄さんの子や、赤ちゃん達がきました。お酒をついでもらい飲みました。今年は元気に優しい気持ちで過ごしたいです。

家族と一緒に、お寿司を食べました。初詣に行き写真撮りました。今年も勉強を頑張りたいです。

かぜをひいて熱が出たので、休んでいました。治った後、友達とゆめタウンに行きました。今年元気で過ごしたいです。

### お正月にしたこと 今年がんばること



熱が出ていてしんどかったです。お姉さんと甥っ子が会いに来てくれました。もっと元気になるように…と思っています。

家で兄と母と過ごしました。買った物を詰めておせちを食べました。今年、育成会の60周年記念、はつらつ友の会、家の用事や仕事をがんばります。勉強も色々したいです。

朝4時に起きて父と野呂山へ初日の出を見に行きました。気持ちよかったです。今年も家の手伝いをたくさんします。おいしいコーヒーを飲みたいです。

1月3日から仕事が始まりがんばったよ。お雑煮とごちそうを食べました。お姉ちゃんたちが来ました。姪っ子にお年玉をあげました今年も元気に楽しくがんばります。

12月30日まで仕事がありました。母が転んで入院したので、お正月は一人家でゆっくりしてしていました。

## 野呂山学園作品展に行ってきました

第43回野呂山学園作品展がグリーンヒル郷原で開催されました。



カラフルな色使いの絵や、かわいい焼き物、ホタテ貝に絵を描いたものやカープが大好きなことが伝わってくる作品など、見ていて楽しくなりました。利用者さんが見学されていて、笑顔で挨拶していただきました。





# 「互助制度」(AIG 損保の普通傷害保険)「生活サポート総合保障制度」

ご加入の皆さま 新規加入をご検討の皆さまへ

## 互助制度保険料(掛金)の改定について

令和8年4月より、互助制度保険料を値上げすることとなりましたのでお知らせいたします。現在ご加入中の方にはご自宅にお知らせが郵送されますのでご確認をお願いいたします。(生活サポート総合補償制度については、保険料等の変更はありません。)

○互助制度保険料	<b>Aプラン</b>	<b>13,200 円(新)</b>	<b>/ 12,000 円(旧)</b>
	<b>Bプラン</b>	<b>19,800 円(新)</b>	<b>/ 18,000 円(旧)</b>
○開始時期	令和8年4月1日		

2026年度版

### 広島県手をつなぐ育成会 互助制度のご案内

(育成会の入院保険・AIG損保の普通傷害保険)

当制度は2019年度より「付添看護料共済制度」から名称変更しました。「お互いに助け合い、共に生きる」という互助精神は変わらず運営してまいります。

病気とケガでの入院に備えて

**入院保険**

- 付添看護保険金
- 差額ベッド費用保険金
- 入院一時保険金
- 入院諸費用保険金

入院保険 互援会等特定保険業者  
一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

ケガをしたときや  
他人への損害賠償に備えて

**傷害保険**

- 入院保険金
- 手術保険金
- 通院保険金
- 死亡保険金・後遺障害保険金

他人への損害賠償金  
普通傷害保険 引保株式会社  
AIG損害保険株式会社

心身に障害のある人が病気やケガで入院をし、付添看護が必要となったときや、突発的に他人に損害を与えたときの大きな出費にそなえて、いざというときのためにみんなで助け合います。これが「広島県手をつなぐ育成会 互助制度」です。  
A、B2つの加入プランがあります。

**一般社団法人  
広島県手をつなぐ育成会**

2026年度版

### 生活サポート 総合補償制度

生活サポート協会は知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の暮らしを支えます。

普通傷害保険(特定障害者福祉団体傷害保険特約、非団土費用特約補償特約、職業災害中事故対応費用補償特約、地震・火災・盗取危険補償特約セット)

全国生活サポート協会は「表現活動」を支援しています。

2025年度「アールブリュット作品展」において、1,081作品の応募があり、130作品を当会ホームページ「お知らせ」に掲載いたしました。  
全国の生活サポート協会にて投票を行い、票の多かった4作品を入賞といたしました。  
(※作品作者名 敬称略)



さようろう、おおさきな  
砂原 和成(横井南)



旅行の集合写真  
佐藤 隆幸(神奈川県)



あれ?みんなへに  
なっちゃった!  
阿部 望(山形県)



馬  
あつし(大塚市)

(生)の芸術というフランス語、正統的な美術教育を受けていない人による、何ものにもとらわれない表現

一般社団法人全国生活サポート協会  
**広島県生活サポート協会**

ご加入の皆様へ  
別紙の補償概要および重要事項説明書(契約概要)・(注意喚起事項)には、ご契約にあたっての重要な事項が記載されていますので、必ず事前に一通りご覧ください。特に、「保険金を支払うできない場合」など、登録によって不利な補償が設定された部分については、その内容について必ずご確認ください。

互助制度と生活サポート総合補償制度から選択でき、障害者のニーズに合った補償を選べます。

- 互助制度加入に関わる案内が届きましたら、内容をご確認の上、変更・継続・解約等の手続きをお願い致します。
- 互助制度継続の方は、家族会員加入の案内が届きましたら、振込または事務局へ会費のご持参をお願い致します。

※その他、互助共制度保険の申請忘れがございましたら、領収書、退院証明書(病名が分かるもの)、印鑑をご持参ください。ケガ通院の傷害補償に該当される方もご相談ください。【お問い合わせ先】呉市手をつなぐ育成会 0823-24-2260



☆ありがとうございました☆  
 【順不同・敬称略】(1月20日現在)  
 ご寄付いただいた皆さま  
 学校法人広島みどり学園焼山みどり幼稚園

呉市立小中学校特別支援学級作品展  
 日程及び会場の変更のお知らせ  
 日時：2月18日(水)～20日(金) 9時～17時  
 会場：広まちづくりセンター3階ホール

60th  
**呉市手をつなぐ育成会  
 60周年記念式典・記念講演会**  
 ～共に支えあう地域づくり～

2026年  
 日 6月20日(土) 13:30～15:30  
 新日本造船ホール(くれ陣ホール)

第1部 13:30～  
 記念式典 呉市手をつなぐ育成会 60周年記念式典

第2部 14:00～15:30  
 記念講演会「たかがうちんち、されどうんち  
 ～うちんち先生が伝えたい10のこと～」  
 講師：藤森 正彦様(呉市医師会病院 副院長 大鷗紅門病センターセンター長)

【主催】 呉市手をつなぐ育成会  
 【共催】 呉市  
 【後援】 呉市教育委員会、呉市社会福祉協議会、呉市民生委員児童委員協議会、  
 呉市しょうがい児者支援事業所連絡協議会、呉市自立支援協議会、  
 呉市子ども会連合会、呉市 PTA 連合会、呉市医師会、国際ノロブチニスト呉  
 安芸南地区仏教婦人会連盟、呉南口タリークラブ、学校法人広島みどり学園  
 (予定 順不同)

**表紙絵等募集**

「呉市手をつなぐ育成会60周年記念誌」を作成することになりました。作成にあたり、表紙絵・挿絵・書等を募集いたします。

障がいのある方であれば、どなたでも応募いただけます。作品は次の要領にそって作成してください。


**応募要領**

**用紙・画材等**  
 B5～A4程度・画用紙等耐久性のある紙  
 裏面が写る紙、地色の入った紙(色紙等)は避けて下さい。蛍光ペンは印刷で再現できませんので使わないようお願いいたします。

**題材等**  
 自由  
 表紙の題字を書いてみようと思う人は、「きずな」(横書き)と書いてください。

**作品の取り扱い**  
 採用作品は本誌掲載のため使用します。  
 応募作品は原則としてお返しいたしません。  
 返却ご希望の方は育成会までご連絡ください。

**応募締め切り 2月16日(月)**



50周年  
 記念誌表紙

広告・ご寄付のお願い

平成28年呉市手をつなぐ育成会の50周年記念事業を行いまして早や10年を迎えました。この10年の歩みを後世に残すべく60周年記念誌を編纂し発刊いたします。

デジタルが声高に叫ばれる中、記念誌?と思われるかもしれませんが、「人」と「人」のつながりを大事に運営してきました育成会としては、ブレることなく冊子で残す事が大事であると考えます。どうか本趣旨にご賛同いただき、記念誌作成への広告のご協賛並びにご寄付のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

寄付 一口 ¥1,000(複数口も可能です) 広告については事務局にお問合せください

特定非営利活動法人 ぽでーる

**「ぽこ・あ・ぽこ」**

連絡先〒737-0154 呉市仁方棧橋通10-3  
 Tel: 0823-79-5119 Fax: 0823-79-5179  
 Eメール: hop.step.jump-pocoapoco@ybb.ne.jp

編集後記

昨年、障害のある本人さん達と選挙について学びの場を持ちました。早速、投票の機会があるようです。自分達の投票、しっかりと考えて選挙に臨んでほしいです。

一月の勉強会で、年末年始の過ごし方を発表してもらった。体調の崩れや高齢化など、バランスの取れた食事の摂取が難しいか、バランスの取れた食事の摂取が難しい。カット野菜や豆乳・ヨーグルトなど手軽に取れる食品をみながら一緒に考えました。コロリーの塩ゆでをたくさん食べました。

六〇周年の記念事業が無事迎えられ張りよう、健康で笑顔で楽しく、元気に頑張りたいですね。